

執筆者紹介

岡本信広 Okamoto Nobuhiko

一九六七年生まれ。大東文化大学国際関係学部教授。中国経済、『改革開放四〇年の中国経済―迫りくる労働力不足の課題(翻訳)』『Spatial and Institutional Urbanisation in China: 中国の都市化と制度改革』(編者)

片山ゆき Karayama Yuki

一九七五年生まれ。株式会社ニッセイ基礎研究所保険研究部准主任研究員。中国の民間保険市場、社会保障制度、『ポスト改革期の中国社会保障はどうなるのか―選別主義から普遍主義への転換の中で』(共著)、『アジアの生命保険市場―現状・変化と将来展望』(共著)、『Tプラットフォームによる新たな医療保障の提供』

藤本勉 Fujimoto Tsutomu

一九七五年生まれ。日本貿易振興機構市場開拓・展示事業部海外市場開拓課課長代理。中国経済、ヘルスケア産業、「中国における高

齢者向けサービスの現状と今後の可能性」
「高齢者ニーズの掘り起こしを」
「急速に変化する高齢者産業の政策およびビジネス展開動向」

村山宏 Murayama Hiroshi

日本経済新聞編集委員。アジア政治経済・国際関係。『中国「内陸」発―底辺から見た「中華世界」の真実』
『中国人口減少の真実』
「高所得国の罠」に陥ったアジア四小龍」

蔡昉 Cai Fang

一九五六年生まれ。中国社会科学院研究員・学部委員。中国経済発展と改革、人口と発展、労働と就業、農村経済。『解説中国経済発展の謎』
『従人口紅利到改革紅利』
『中国経済発展的世界意義』

大泉啓一郎 Ozumi Keichiro

一九六三年生まれ。亜細亜大学アジア研究所教授。アジア経済、人口経済論。『老いてゆくアジア』
『消費するアジア』
『新貿易立国論』

李博 Li Bo

一九八七年生まれ。MUFGBバンク(中国)リサーチ&アドバイザー部高級経理。地域経済学、環境経済学、中国経済論。『中国における産業構造変化と地域経済成長―供給・需要の両サイドからの検証』
「中国の製造業における産業集積変化と労働生産性成長―業種別パネルデータによる検証」
「日本港口地区経済発展経験対我国的啓示」(共著)

于瑛琪 Yu Yingqi

一九九〇年生まれ。MUFGBバンク(中国)リサーチ&アドバイザー部経理。中国マクロ経済、不動産市場、所得格差等。「金融緩和・財政出動で実体経済レバレッジ比率が上昇―投機取引・資産価格の上昇リスクに注目」
「国際比較の視点から中国の都市調査失業率を解析―中国の雇用状況の実態をつかむ」
「新型コロナ景気刺激策の余地を考える―財政政策と金融政策の協調性」

金湛 Jin Zhan

一九七三年生まれ。愛知大学現代中国学部教授。中国農業経済・農村社会。『経済成長の

ダイナミズムと地域格差」(共著)「中国における農地流動化の推進と農業経営への影響―湖南省S県の事例」(共著)「所有、組織、規模―『三権分置』政策に対する考察」

謝新梅 Xie Xinmei

長沙理工大学経済与管理学院講師。農業経済。「日中有機農業経営の経営実態及び意識比較研究」「中国における農地流動化の推進と農業経営への影響―湖南省S県の事例」(共著)

孫鵬娟 Sun Juanjuan

中国人民大学人口与發展研究中心、老年学研究所。高齢者の生活の質、高齢化政策。『城镇化、農村家庭変遷与養老』『国際視野中の老年照料護理―理論与实践』『中国老年人生活質量研究』

田佳音 Tian Jiayin

一九九六年生まれ。中国人民大学社会与人口学院老年所博士研究生。高齢者のデジタル格差、高齢社会政策。『新健康老齡化視域下的中国医養結合政策分析』

佐々木美穂 Sasaki Miho

一九七二年生まれ。独立行政法人国際協力機構(JICA) 中華人民共和国事務所所長。開発協力。「変わる企業の社会的責任(CSR)実践―『企業』の社会的責任(CSR)実践における企業と社会組織との連携」調査を通じて「ODAを通じた高齢化対策の中日技術協力」『日中高齢化対策戦略技術プロジェクト』

藤井大輔 Fujii Daisuke

一九七九年生まれ。大阪経済大学経済学部専任講師。現代中国経済。『現代中国経済論』(共著)『Spatial Analysis of Competition among Local Governments and the Price of Land: the Case of Zhejiang Province』(共著)『二重の罟を越えて進む中国型資本主義―「曖昧な制度」の実証分析』(共著)

前田直樹 Maeda Naoki

台湾・国立政治大学台湾史研究所助理教授。外交史。『現代台湾政治を読み解く』(共著)

櫻井想 Sakurai Sou

一九八六年生まれ。国立民族学博物館外来研究員、龍谷大学・大阪経済大学非常勤講師。文化人類学。「近代天津における鬼市の変遷と都市管理」『毛沢東時代における天津鬼市の歴史の変遷に関する覚書』

薛鳴 Xue Ming

一九五七年生まれ。愛知大学現代中国学部教授。日中比較言語学、社会言語学。「親族名称に見られる関係表示―日本語と中国語の比較から」『異文化とコミュニケーション』講座社会言語科学I(共著)『中国21』Vol.52特集『人際』の關係学(特集担当)

阿部宏忠 Abe Hirotada

愛知大学現代中国学部准教授。日中ビジネス論、中国国際経済論、中国サービス産業論。

翻訳者紹介

岡本恵子 Okamoto Keiko

一九七四年生まれ。フリーランス翻訳者。中国近代仏教・中国近代哲学。高尚全ほか『転換を模索する中国―改革こそが生き残る道』(翻訳)房寧『民主を進める中国』(翻訳)胡鞍鋼『国家統治(ガバナンス)―現代中国の歩み』(翻訳)

路浩宇 Lu Haoyu

関西学院大学国際学部講師。名古屋大学大学院国際言語文化研究科博士課程修了。中国語学日中言語対照研究。「中国語の主語と表された発話者の主観性―無情物が主語となる受身文を中心に」「不定名詞句が主語となる受身文に関する一考察―新聞記事に見られるケース―」「被我」が用いられる受身文の成立について―発話者の主観性という観点から―

水谷友美 Mizutani Yumi

一九八一年生まれ。フリーランス。名古屋大学大学院国際言語文化研究科修士課程修了。

学会通信

◎学会員活動(二〇二二年四月～二〇二二年九月)
加治宏基

「米中对立の遠景としての国連における台湾問題―キッシンジャーからの「宿題」をどう解くか」(『東亜』六四九号、二〇二二年七月)

二〇二〇年の東アジア情勢『ブリタニカ国際年鑑 二〇二二年版』(ブリタニカ・ジャパン、二〇二二年五月)

書評 Enze Han, *Asymmetrical Neighbors: Borderland State Building between China and Southeast Asia*. New York: Oxford University Press, 2019 (*International Relations of the Asia-Pacific*, 21(3), September 2021)

唐 燕霞

学会発表「合作治理視域下的城市社区自治探析―以南京市和北京市為例」(復旦大学主催国際シンポジウム「中共百年華誕世界百年変局―中国共産党治国理政的経験与啓示」二〇二二年七月二〇日)

中国 21 Vol. 56 予告(22年3月刊予定)
特集 ●「新媒体」と多元化(仮題)

二〇〇〇年代以降、中国ではインターネットやSNSの普及に続いて、動画配信・共有プラットフォームのサービスマが加わって、「新媒体」や「自媒体」と呼ばれる多様なソーシャルメディアが登場した。メディア規制があるものの、民間でのコンテンツ制作力も急速に進歩したことから、二〇二〇年一月の時点で、中国国内における動画などの配信サービス利用者は九・四四億人に上るとされる。

本号では「越境するメディアのなかの「中国」をテーマとする座談会、中国で制作し発信する竹内亮監督へのインタビューをはじめ、食文化を発信する自媒体、エスニック・ツーリズムにおける新媒体の働き、越境する民族誌の媒体表象、学者ウィーチャットブログでの議論、オンライン時代の政治思想教育、多媒体が公共生活に及ぼす作用、歴史観をめぐる双方向メディアとしての海外修学旅行など、多彩な論説を用意する。新媒体に発信される「中国のいま」をどう捉えるのか、発信力を強める中国に「日本」をどう伝えるのか―こうした問題を考えるために新しい視野を提供する。

編集後記——本特集の企画を考え始めたのは昨年六月。コロナ禍で大学の授業はすべてオンラインでの実施となり、動画作成、音声録音などこれまで経験のない教材づくりに四苦八苦していた。毎年、夏季休暇間を利用して実施していた中国のフィールドワークも叶わなくなり、研究はもっぱら文献調査となった。◇そんな折、旧知の岡本信広先生が高齢化と中国経済に関する書籍を出版することを知った。それが『改革开放四〇年の中国経済』である。著者の蔡昉先生は、中国を代表する著名な人口経済学者である。同書には大いに触発された。筆者は日中両国間のビジネス交流を研究しているが、特にサービスマネジメント、なかでも高齢者ビジネスは二〇〇七年に超高齢社会を迎えた日本が強みを発揮できる分野であり、関心をもっていた。◇緊急事態宣言が解除された九月に岡本先生に直接お会いし、特集の構想を一緒に練ることになった。その際、話題に上ったのが日本経済新聞編集委員の村山宏氏であった。村山氏は二〇二〇年一月に『中国人口減少の真実』を上梓されていた。すでに同書を読んでいた岡本先生と筆者は、村山氏との面識はなかったが、ぜひ執筆をお願いしてみようと考えた。村山氏には特別寄稿のほか、座談会でのパネリストも引き受けていただいた。村山氏は早くから人口が国力に及ばず影響に注目されており、座談会でもジャーナリストらしい切り口で雄弁に持論を展開されていた。(阿部宏忠)

◇本書の編集が進む十一月、村山宏氏はご急逝されました。愛知大学現代中国学会および関係者一同、故人のご功績をたたえ、謹んでご冥福をお祈りいたします。

投稿原稿募集 新しい発想から現代中国をめぐる諸問題に切り込む、気鋭の論者を広く募集します。現代中国に関するテーマであればジャンルは問いません。むしろ、既存の学問のジャンルを打ち破るような斬新な発想を期待します。①未発表のものに限る ②論説、研究ノート、報告・ルポ、資料等=50枚程度、書評=20枚程度、エッセイ=10枚程度(400字詰原稿用紙換算) ③ワープロソフトで作成した原稿の打ち出し2部およびデジタルデータを提出。デジタルデータはeメールでの送信も可。

〈原稿送付先〉愛知大学現代中国学会 E-mail: china21@ml.aichi-u.ac.jp

投稿規程の詳細は現代中国学会までお問い合わせ下さい。採否は編集委員会の査読を経て決定し、採用にあたっては規定により薄謝を進呈します。なお、応募された原稿は採否にかかわらず返却いたしません。

中国21編集委員会

〔編集長〕金 湛 安部 悟 阿部宏忠 川村亜樹 高明潔 唐 燕霞

愛知大学現代中国学部 <http://www.aichi-u.ac.jp/college/chi.html>

中国21 Vol.55

特集 少子高齢化と 中国経済

2021年12月25日発行

ISBN 978-4-497-22114-8 C3036

編 集	愛知大学現代中国学会 名古屋市中村区平池町4-60-6 〒453-8777 Tel. 052-564-6128 Fax. 052-564-6228
発行人	砂山幸雄
発売元	株式会社 東方書店 東京都千代田区神田神保町1-3 Tel. 03-3294-1001
制作印刷	株式会社 あるむ 名古屋市中区千代田3-1-12 Tel. 052-332-0861